

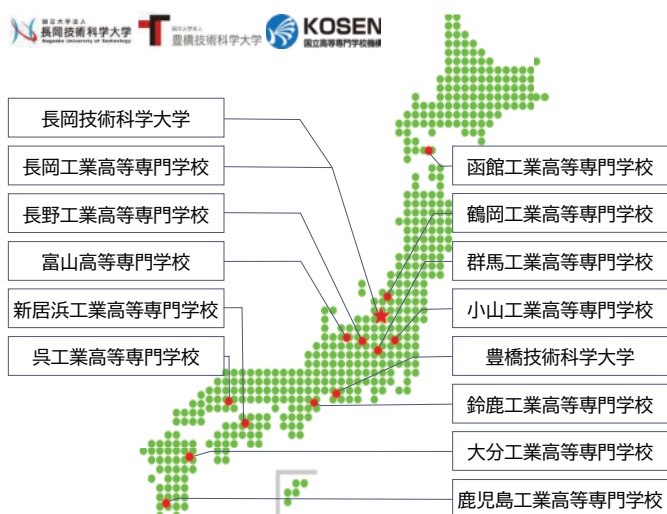
技学コアファシリティネットワーク

コアファシリティの構築

研究者がより研究に打ち込める環境を実現するために、研究設備・機器を研究機関全体の研究基盤として戦略的に導入・更新・共用する仕組みを強化（コアファシリティ化）します。

- 共用化による研究力の向上
- 高度利用化に向けた人材育成
- 産学国際連携の推進

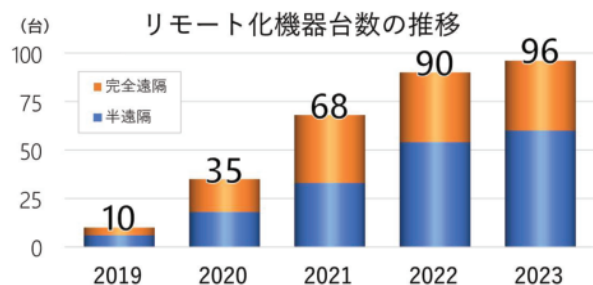
全国規模のネットワーク



技科大-高専間で連携し、ネットワーク全体でのコアファシリティ化を推進します。

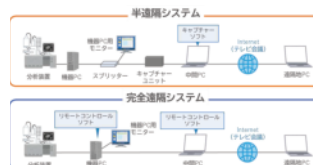
設備・機器リモート化の推進

2大学12高専が所有する研究設備・機器を整備し、遠隔地から利用可能です。



完全遠隔・・・遠隔地から利用者自身が操作

半遠隔・・・観察/測定画面を共有し、現地スタッフが操作



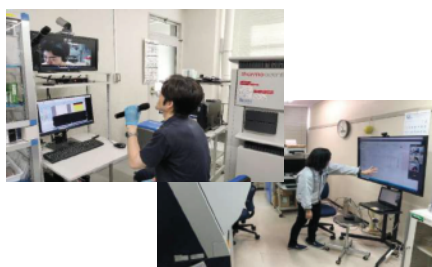
機器一覧
はこちら



活用事例

➤ 研究支援

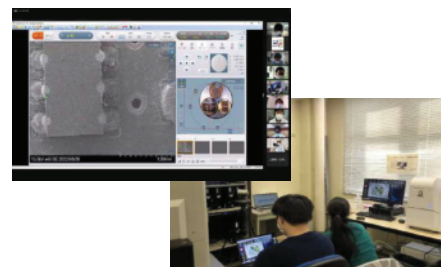
遠隔地からの機器操作に加え、測定画面を共有し、ディスカッションしながら分析を進めることができます。



技科大-高専間の遠隔利用

➤ 教育支援

メーカーと共同で遠隔操作を利用した実習を行います。学生が質問や相談をしやすい環境づくりを目指します。



卓上SEMオンラインワークショップ

機器利用の流れ

技学コアファシリティネットワークは全国の高等専門学校等の教育研究の支援に展開しています。実施機関以外の高等専門学校・大学等研究機関および企業の方も窓口よりお問い合わせください。

総合窓口
はこちら

